

水産物来週の見通し（10/21～10/26）

【鮮魚の概要】

台風シーズンで時化も増えますが、秋鮭、ぶりなど各魚種入荷は多めの見込みです。秋も深まり、たら、真たち、かじか等、鍋商材が増えてきます。

【主要品目】

鮮マグロ⇒本マグロは、長崎産、愛媛産、鹿児島産、熊本産の国産養殖が中心に入荷。
インド洋のバチマグロは若干入荷。カナダ産、ボストン産ジャンボマグロは入荷不定期。

ホタテ ⇒オホーツク方面が中心に入荷。数量不安定も、価格安定。

ホッキ ⇒胆振方面、日本海方面、道東方面が中心に入荷。数量安定、価格安定。

ウニ ⇒道東方面、ロシア産が中心に入荷。数量不安定、価格高値。

貝ツブ ⇒真つぶは、様似産、襟裳産が中心に入荷。数量安定、価格安定。

毛ガニ ⇒白糠他太平洋方面が中心に入荷。数量不安定、価格高値。

エビ ⇒ボタンえびは、日本海方面、噴火湾方面が中心に入荷。数量不安定、価格高値。
南蛮えびは、増毛産が中心に入荷。数量不安定、価格不安定。

タコ ⇒オホーツク方面、積丹産が中心に入荷。数量不安定も、価格安定。

キンキ ⇒網走産、根室産が中心に日高産も入荷。数量不安定、価格不安定。

ヒラメ ⇒日本海方面、噴火湾方面が中心に入荷。数量安定、価格安定。

カレイ ⇒真ガレイは、オホーツク方面が中心に入荷。数量不安定、価格高値。
黒ガレイは、根室産、オホーツク方面が中心に入荷。数量不安定、価格高値。

タラ ⇒日本海方面、襟裳産、網走産が中心に入荷。数量安定、価格不安定。

秋鮭 ⇒太平洋方面、オホーツク方面が中心に入荷。数量多めも、価格上げ傾向。

サンマ ⇒入船、水揚げ不安定。数量不安定、価格不安定。

生筋子 ⇒秋鮭漁に伴い入荷増も、価格高値。

はたはた⇒釧路産、広尾産が中心に入荷増、価格安定。